

えすぽわーる

えすぽわーる新函館はJA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です

5

2015
No.153

— SHINHAOKODATE —



JA新はこだて

<http://www.ja-shinhakodate.jp/>



①大きく育った茎の下から、新しい茎が次つぎとのびる。②ハウスの中は株ごとに生育ステージが違う。バランスよく育てるのが腕のみせどころ。③花を咲かせるのは植物にとって大変な労力。選りすぐられた花だけが残され、収穫される。④収穫した花に一晚たっぷり水を吸わせ、丁寧に箱づめて出荷する。



「花がてっぺんにまとまっているので、花束にすると豪華に見える」と息子の勝久さん（右）。



農すー生きる力を体現した容姿、自然本来の鮮やかな彩り、四季折々で地域の景観であり続ける「農産物」と、それを生み出す「農業者」たちをシリーズで紹介していく。

ピンク、紫、白…豊かな色に目をひく模様

彩りあざやかな花束の主役

「農産物」アルストロメリア

七飯町上藤城
加茂悦夫さん(63)
勝久さん(39)

欧米では「ペルーのユリ」とも呼ばれるアルストロメリアは、その名の通り南米原産でユリ目の多年草。端正にならぶ6枚の花びらや茶色の斑点模様は、ユリとの類縁を思わせる。一方で、いくつもの花がまとまって咲く華やかな姿や青紫をふくむ色彩の幅広さは、アルストロメリアならではの。

成長した茎の下から次つぎと新しい茎が伸びることも特徴だ。ひとつの株に大人から子どもまでの茎が同居する。そのため年間を通して収穫できることも、生産者にとっては魅力だ。光合成と生長・開花、バランスよく育てるのが、農家の腕のみせどころ。

七飯町といえばカーネーションが有名だが、アルストロメリアも盛ん。加茂さんの家でも長年作付けしていたが、15年ほど前に一旦やめてしまった。当時は色の少なさや栽培の難しさがネックになった。再開したのは2010年のこと。カーネーション一本だった経営の柱を増やすためだ。品種改良が進み、色合いの種類や収量が増えたことも後押しになった。

現在はハウス10棟で作付けしている。「ネット入れをして、曲がらないようにまっすぐに育てるのが難しい」と苦労をにじませる一方、「花の作業は細やかなものが多く、品種ごとに違う場合もある。それが自分の質にあっている」とやりがい語る勝久さん。収益性も課題のひとつ

だが、薪を燃やして暖房費を節約する工夫は若手の花卉農家の間で注目を集める。

「華やかさが最大の魅力なので、結婚式などお祝い場で使ってほしい。白や紫色の花は葬儀など色々な使い方もできる」と太鼓判を押す。



クリーンな白い背景が目を引くこの看板は、七飯町鳴川の函館新道沿いに立っています。右上にあしらわれたキャラクター「ななちゃん」は、安全でクリーンな野菜がすくすく育つイメージを表現しています。



えすパワー

NO.153/2015年5月号

CONTENTS

- ② 道南を農す
- ④ **特集** 第13回 通常総代会 開催
- ⑧ 協同の力
- ⑨ 新婚さんハッピートーク
～ゴール&スタート～
- ⑩ トピックス
「農機&自動車 春の展示会」開催 他
- ⑫ Focus the JOB
～JAの仕事を紹介します～
- ⑬ あぐりレッスン
- ⑬ 地産地食図鑑

特集

第13回 通常総代会 開催



平成27年度事業計画など全8議案と 特別決議を原案通り承認

第13回通常総代会が4月14日、北斗市総合文化センター「かなでーる」で、総代432名（本人出席257名、書面議決167名、代理出席8名）の出席のもと開かれた。全8議案と2特別決議は原案通り可決された。



挨拶を述べる畠山組合長

議事に先立ち、畠山組合長が「JA改革については、政府の方針に対し、JAグループ北海道として『改革プラン・実行計画指針』を取りまとめました。今回の改革が農業所得の向上や農村の活性化に結びつくのか不透明ではありますが、組合員の意見反映に努め、『改革プラン』を実践してまいります。またTPPについても、国民の暮らしや地域社会に大きな問題を残すため到底容認できず、引き続き要請活動を強化して

まいります。

一方、嬉しいニュースとして、『ふっくらんこ』が食味ランキングで長年の悲願である『特A』を獲得しました。また貯金残高も合併当初の目標でありました1000億円を達成しました。組合員はじめ地域の皆様方のご協力の賜物と、深く感謝を申し上げます。

27年度は、組合員の皆様とのコミュニケーションの充実を図り、JAに課せられた使命と目標達成に向けて役員一丸となって努力してまいりますので、今後とも組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶。

次いで、議長に七飯地区の青山金助さんと大野地区の白戸昭司さんが選任され、議事を進行了た。

6年連続で販売高270億円を突破

平成26年度の事業報告では、販売総額は281億円（計画対比104%）となり、6年連続で270億円を上回ったことが報告された。

品目別では、米穀については、作況指数は高いものの登熟歩合の低下により外観品質が著しく下がり、33億円にとどまった。野菜については、一部の作物で干ばつや長雨の影響を受けたうえ、全国的な豊作基調による安値傾向が続き100億円となった。そのほかでは豆類や花卉が伸び、農産物総体で179億円（計画対比98%）の実績となった。

酪農畜産では、生乳は搾乳量が減少しているものの乳価は高値で推移し60億円となった。肉用牛などの個体販売についても、素牛不足により市場価格が高騰した。そのため酪農畜産総体では、合併から初めて100億円を突破し、102億円（計画対比116%）と大きく伸張した。

全8議案が原案通り可決

議事では、剰余金処分、経営基盤強化積立金の新設など8議案を審議。総代からさまざまな意見が出され、今後の農協運営について熱い議論が交わされた。任期満了にともなう役員改選については、23名の理事と5名の監事が選任された。

そのほか、特別決議として「TPP（環太平洋連携協定）等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議」と「農協改革に関する決議」を採択し、農業情勢に対するJAの姿勢を明確に示した。

総代会で審議された内容や意見要望は、理事会等での十分な審議を経て今後の農協運営に反映される。



議長を務めた青山金助さん（左）と白戸昭司さん（右）

第13回通常総代会 提出議案

- 議案第1号 平成26年度事業報告、剰余金処分案の承認について
- 議案第2号 経営基盤強化積立金の設定について
- 議案第3号 平成27年度事業計画の設定について
- 議案第4号 平成27年度賦課金の賦課及び徴収方法について
- 議案第5号 役員の選任について
- 議案第6号 役員報酬の支給について

議案第7号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について

議案第8号 信用事業規程の一部変更について

報告事項 1. 「JAバンク基本方針」の変更について
2. 労働保険事務組合の平成26年度徴収・納付状況の報告について

特別決議 1. 「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議」について
2. 「農協改革に関する決議」について

JA新はこだて組合賞表彰式

総代会に先立ち、第9回JA新はこだて組合賞の表彰式が行われた。本賞は、各種表彰で優秀な成績を収めたり、報道によりJAの名を広めた組合員・組合員組織に送られる。

受賞者

- 森地区 有限会社 サクセス森（代表 高瀬 幸巳）
【平成26年度日本SPF豚協会生産成績農場部門最優秀賞】
- 北渡島地区 佐橋 茂
【全国トップクラスの高泌乳牛（スーパーカウ）の生産】



新執行体制、決まる

第13回通常総代会で28名の役員が選任されたことに伴い、翌4月15日に開催された理事会・監事会にて新執行体制が決まりました。会長理事に小野寺仁、代表理事組合長に畠山良一、代表理事専務に輪島桂、代表監事に齊藤幸利、常勤監事に川端英裕が選任され、同日付で就任しました。また(有)新はこだて協同には、代表取締役社長に的野敏夫が就任しました。

理事

再任 代表理事組合長



畠山 良一
(常勤 大野)

再任 会長理事



小野寺 仁
(非常勤 厚沢部)

新任 常務理事



西村 安弘
(学識経験)

再任 常務理事



田村 廣幸
(学識経験)

新任 代表理事専務



輪島 桂
(常勤 知内)

新任



下川部 洋
(厚沢部)

再任



笠原 一雄
(厚沢部)

再任



田中 猛一
(営農販売・経済委員長 七飯)

再任



春山 豊満
(企画管理・信用共済委員長 大野)

新任



吉田 成三
(知内)

再任



横道 重人
(若松)

再任



平田 克則
(若松)

再任



山下 敏雄
(厚沢部)

再任



松本 一徳
(七飯)

再任



金子 周治
(七飯)

新任



浅野 宏隆
(七飯)

新任



森 隆志
(大野)

再任



時田 孝喜
(大野)

再任



舟田 進一
(八雲)

新任



鈴木 隆昭
(八雲)

新任



加藤 寛喜
(八雲)

新任



三十尾 昭一
(森)

再任



高瀬 幸巳
(森)



代表取締役 社長
的野 敏夫

(有)新はこだて協同

新任



常勤監事
川端 英裕
(学識経験)

再任



代表監事
齊藤 幸利
(八雲・若松)

監
事

取締役 会長 畠山 良一

取締役 輪島 桂

取締役 西村 安弘

監査役 齊藤 幸利

監査役 川端 英裕

再任



中富 清明
(七飯・森)

再任



落合 修
(大野・知内)

新任



鷺田 寿永
(厚沢部)

1人ひとりの力を合わせ、大きな力に。『協同の力』で地域農業をけん引する組織を紹介していく。

技術向上に取組み、経営の安定へ

知内町畑作生産組合 設立2008年、部会員35人

●畑作生産組合の設立までには、どのような経過がありましたか？

●木村組合長

平成15年に設立した知内町豆類機械作業受託組合が最初の始まり。その後、色々な取組みを実施する為、平成18年に知内町畑作生産組合を設立した。当初の品目は、大豆・そば・緑肥であり、現在はそれに麦も増えてきている。大豆・そばについては、刈取・乾燥・調整の全てを知内町豆類機械作業受託組合と畑作生産組合で連携してやっている。

●昨年実施した乾麺の販売等について今後、どのような活動を考えていますか？

●木村組合長

まだ、知内町民でも知内で「そば」を作付していることを知らない人がいる。その為、引き続き、町のイベントへの積極的参加や、昨年行った知内高校での食育活動を継続的に実施し、町民はもとより消費者にも地元産があることをPRしていきたいと思う。

●大嶋副組合長

度々を向上させ、乾麺の販売拡大・生産者の所得向上に繋げたい。

●大嶋副組合長

幅広く認知してもらい、作って終わりにならない為にも継続して乾麺のPRはしていく。味も去年の産葉まつりのアンケートで、それなりの評価を頂いている。これからはイベントのみの販売ではなく、お歳暮などの贈答用として商品アイテムを増やしながら展開することを考えている。

●組合としての課題や目標は？

●木村組合長

昨年は品質低下が見られたので、今年度は勉強会などを重点的に実施して栽培技術の向上と浸透に取組んでいく。天候も毎年同じではないので、技術の習得と生産者への情報提供をし、品質向上を目指す。組合としては、道央並みの収量を上げることを当面の目標とし、農業

所得向上・経営安定に向けて組織一丸となって努力していきたい。

●大嶋副組合長

勉強会を開催して生産者みんなの収量をあげたい。現在は、種を蒔く時期が生産者それぞれで異なっている。知内町の気候でいつの時期に蒔くのが適しているのかを突き詰めながら、品質向上に向けて、皆で足並みを揃えて取組みたいと思っている。

その他、現在は経営所得安定対策による交付金があるので収支はマイナスになっていない。しかし、販売代金だけでプラスにする方法も今後、検討が必要だと感じている。例えば、乾麺の販売以外にも大豆から豆腐を生産するなど、他の加工品の開発も検討しながら、交付金が無くなっても安定した経営が継続できるように、先手を打った取組みを実施していきたい。

〈取材 知内支店 尾辻 凌〉



大嶋 貢 副組合長(44)

木村 一 組合長(61)

新婚さん! ハッピートーク ゴール&スタート vol.2

結婚というゴールを迎え、新たな人生をスタートさせた二人の出会いから交際、結婚にいたるまでの経過を紹介していく

厚沢部町館町
西口 智章さん (32 歳)
千春さん (27 歳)



【写真上】共選出荷前に選別しながら、共選の規格に合わせてアスパラを切る智章さん

【写真左】「体を動かすことが好きなので、休みの日には運動をしてリフレッシュしています」と語る智章さん(左)、千春さん(右)。アスパラのハウス内にて

自然と交際に発展し、結婚へ

●二人の出会い●

西口智章さんと千春さんは平成27年1月23日に結婚した。二人の出会いには4年ほど前に共通の友達と一緒に飲んだ時。その時にはお互い相手を意識することはなかった。その後、共通の友達との飲み会で顔を合せている中で、どんどん仲も深まっていった。そして、いつしか毎日遊ぶようになり、自然と交際がスタート。

●交際期間中●

約2年間の交際期間中は旅行に行ったり仕事が終わった後に函館市内で食事をするなどしてお互いの仲をさらに深めていった。智章さんは30歳を超えたあたりから、「そろそろ自分も身を固めていかないと」と結婚を意識し始め、周りの先輩方からも結婚の良さを聞き、平成26年12月3日、意を決し千春さんにプロポーズ。千春さんは迷わず受け入れた。千春さんは「農業には休みも無く、大変だと思っていたが抵抗は感じなかった」とプロポーズされた時の気持ちを振り返る。

●これから●

現在は、アスパラ・馬鈴薯・カボチャ・スイートコーン・黒大豆・水稲などを栽培。智章さんは今後、全ての品目で今より品質・収量ともに上を目指すという意気込みでいる。さらに、智章さんが監事を務めている青年部の活動についても「色々なことを学び、青年部員みんなで様々な取組みをしていきたい」と話す。千春さんは現在、介護の仕事をしており、農作業の手伝いは忙しい春先の時期のみであるが、「智章さんの力に少しでもなれるよう、農作業も頑張っていきたい」と今後について話してくれた。

最後に、「二人とも食べ歩くことが好きなんです」と二人仲良く笑顔で話してくれた。

〈取材 厚沢部支店 百澤 竜馬〉

今年も農作業の準備しっかりと 「農業機械&自動車 春の展示会」を開催



目当ての展示品を前に交渉する来場者



厚沢部地区の会場となった機械センター

（有）新はこだて協同は4月、管内の各機械センターを会場に「農業機械&自動車 春の展示会」を開いた。同社では農機具や自動車、小農具などの展示即売会を春と秋の年2回行っている。

雪解けが進み、農繁期目のこの時期だが、目当ての品を求めて多くの組合員が会場を訪れた。お昼には恒例のうどんのサービスもあり、来場者は温かいうどんをすすりながら、農繁期に向けた情報交換などで交流した。

このうち厚沢部機械センターでは4月2、3日に開催。町内から訪れた組合員の小沢隆則さんは、新聞の広告で知った刈刃の角度が調節できる刈払機が目当てで来たといい「斜面などの草刈りが楽に出来るので使ってみたい」と話し、交渉に余念がなかった。このほか、八雲機械センターでは8、9日に、知内機械センターでは11日にそれぞれ開催し、会場は多くの来場者で賑わった。

交通安全に一役 輪禍防止を呼び掛ける 七飯支店が交通安全立哨に参加



子供たちに安全を呼び掛ける職員

4月6日から15日までの10日間実施された「新入学（園）期の安全旬間」における街頭立哨協力活動に七飯基幹支店職員が参加した。

この活動は七飯町が主体となって、例年雪解け時期に、スピードの出し過ぎによる自動車、自転車から新入学（園）児を交通事故から守り、町内全体の交通安全意識の高揚を図ることを目的としており、七飯駅前交差点他町内3か所で、朝の通勤、通学時間帯に実施。七飯基幹支店では期間中に4名の職員が、交通安全指導員や町民とともに、交通安全のタスキや旗を身に着けて安全運転を呼びかけた。

元気に育ちますように 若松でブロッコリーの播種始まる



播種機を使い、何枚ものセル苗トレイに播種する部会員ら

若松ブロッコリー部会は4月2日より、ブロッコリーの播種作業を開始した。同部会での播種作業はせな町農業センターのハウス内で播種機を共同使用し、1週間ごとに数回、7月末まで行われる。セル苗トレイに播種したブロッコリーは水をあげて一晩涼しい場所に置き、その後定植までの間ハウス内で育成される。

8日に播種を行った生産者の加藤順一郎さんは「例年より1週間ほど早く播種をしている。これからは夏場の気候と管理が勝負になる。今年は反収の向上を目標にしたい」と抱負を語った。

中国人実習生 10 名が日本の農業技術を学ぶ

厚沢部支店で中国人実習生事前研修会を開催



真剣に講習を受講している中国人実習生



日本語で自己紹介をする中国人実習生

4月15日～5月1日まで、当JA厚沢部支店において中国人実習生10名が日本語や日本での生活一般に関する知識などについて事前研修を行った。中国人実習生の受入については、国際交流を目的として平成12年から実施しており、今回で15回目。

取材した16日は実習生全員で勉強したての日本語による自己紹介を実施。実習生は名前・性格・家族構成などについて苦労しながらも自己紹介をしていた。

実際に研修を受講している実習生達は「日本語が難しく、まだ来たばかりで日本での生活にも不安はあるが、日本の農業技術を学び、中国に戻った際には今回の研修を活かしていきたい」と感想を述べた。実習生10名は事前研修終了後の5月2日からは2名ずつに分かれて、11月下旬まで事前に選定していた5軒の農家で農家実習をすることとなっている。

2年連続でポリシーブック優良事例発表 JA北海道青年部研修会で青年部長が講演



◀道の盟友に対しポリシーブック活用的重要性を説く高橋部長

4月7日、札幌市のホテルにて「JA北海道青年部研修会」（同協議会主催）が開かれ、先般全国優良事例に選出された当JA青年部のポリシーブック（政策・方針集）取り組み内容について、高橋陽一郎部長が事例発表した。同研修会での発表は昨年度に続き2回目。

発表では計画・実行・検証・改善サイクルの活用や、部員全員が確実に取り組める範囲での「行動目標」確立の重要性を説いた。

高橋部長は「2年連続でこのような機会を頂きとても光栄。これを機に、道内各地でもポリシーブックを活用した事業を積極的に展開してほしい」と話した。

若手農業者が収量増加について討議 知内地区青年部が討議形式による勉強会を開催



◀真剣に討議する若手農業者ら

知内地区青年部は15日、知内町農業センターで「討議形式による勉強会」を開いた。同会は若手農業者を対象として、幅広い知識の習得を目的に毎年行っている。

今年は青年部員など17名が出席し、2グループに分かれて「作物をたくさん採るためには」について討議。若手農業者が積極的に意見を述べた。討議終了後には発表を行い、「自分の圃場をよく理解し、それぞれに合った管理を考えるべき」などと意見が出された。参加した笠松剛久部長（40）は、「今日の勉強会の成果を活かし、部員全員が成長してこれから地域を支えていきたい」と抱負を語った。



市場と商談する農産園芸課職員



生産販売部がある本店事務所

農産物の有利販売に取り組めます!

生産販売部は、北斗市本町の本店事務所1階にある農産園芸課と、北斗市村内の函館育ちライスターミナル内にある米穀課の2課で構成されています。

農産園芸課では、各地区で生産される野菜や果実を中心とした青果物の販売を各支店と連携して行っています。近年では末端ニーズの多様化から、食品スーパー、加工業者との商談や、産直輸送などの取り組みを重点的に行っています。米穀課では、お米の消費拡大に向けたさまざまな業務を行っています。各種イベントへの参加や食育活動を通じて、お米に関する情報発信、新はこだて米に対するファン作りや新規顧客獲得などの業務を主に取り組んでいます。また、出来秋には集荷・保管対策などの業務も各支店と連携して行っています。

組合員の皆様の所得向上・農業経営の安定化のため、生産販売部一丸となって今後も頑張っていきます。

農産園芸課 北斗市本町1丁目1番21号
TEL : 0138-77-5558
FAX : 0138-77-5563

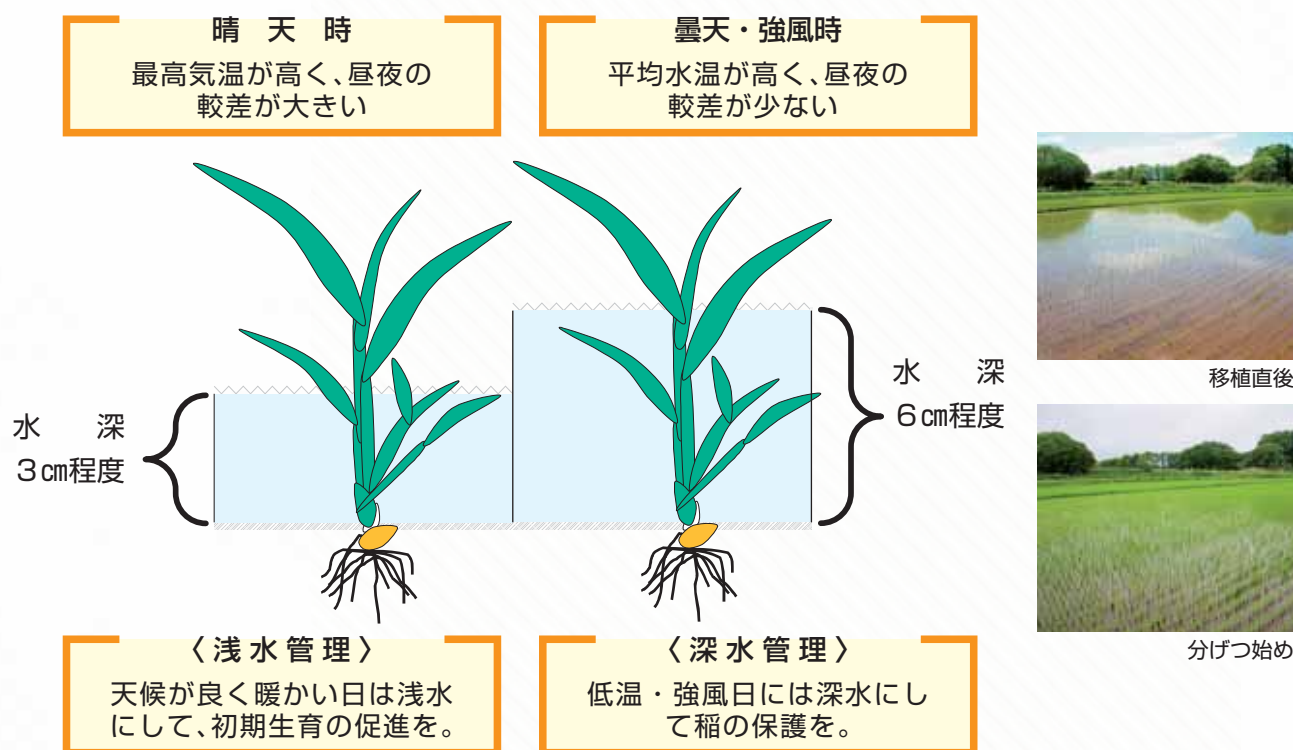
米 穀 課 北斗市村内 545-1
TEL : 0138-84-8737
FAX : 0138-84-8738

●適期移植と密植化で、初期生育促進に努めましょう!!

- (1) 移植は、各地区の移植適期内で終わられるように心掛け、初期茎数の早期確保に努めましょう。
- (2) 栽植密度は、**成苗で23株/㎡程度(株間13cm以下)、中苗で27株/㎡以上(株間11cm以下)**の密植に心がけましょう。

●初期生育を促進する水管理

- (1) 入水は夕方、夜間、早朝8時までに行いましょう。(急激な水温変化を防ぐ)
- (2) 分げつ開始までは、水深約4cmの止め水としましょう。
- (3) 分げつを促進するため、晴天が続く時は、平均水深2～3cmの浅水管理を行いましょう。



- (4) 稲わらを鋤込んだ水田では土壌還元(ワキ)に注意し、程度に応じて田面水の入替・暗きょ排水口の解放により土壌還元の防止を図りましょう。

●除草剤の使用について(4～5日以上の上水日数の厳守を！)

- (1) 除草剤は使用基準を守り、適期内で早めに使用しましょう。
- (2) フロアブル、ジャンボ剤など拡散性を要する除草剤は、十分な水深を保って使用します。
- (3) **除草剤散布の後4～5日間は、薬剤の成分が土壌表面に処理層をつくる大切な期間です。必ず止め水に**しましょう。7日間は大量のかけ流しや落水は禁物です。
- (4) 止め水期間中に水が少なくなったり、土が露出する場合は、水田外に田面水が流出しないように少しずつ入水しましょう。

●ほ場環境を整備しよう！

- (1) **水田での置き苗は、いもち病発生源になります。放置せず、必ず処分しましょう。**
- (2) **カメムシは、特にイネ科植物の穂を好むので、草の穂が出る前に刈り取りましょう。**

▶ 理事会開催報告

第3回 理事会(定例)

日時:平成27年4月10日(金) 10:30～ 場所:北斗市総合分庁舎

議案	1号	役員傷害共済の継続加入について	3号	第4四半期定期(決算)監査に対する回答について
	2号	役員賠償責任保険の継続加入について	4号	不良債権対処方針について

第4回 理事会(臨時)

日時:平成27年4月15日(水) 14:00～ 場所:北斗市総合分庁舎

議案	1号	代表理事の選任について	7号	専門委員会委員の選出について
	2号	組合長、専務理事、常務理事の選任について	8号	平成27年度理事報酬の配分及び支給方法について
	3号	会長の選任について	9号	退任理事に対する退職慰労金の支給について
	4号	(有)新はこだて協同 役員候補者の決定について	10号	常勤理事引継に伴う立会人の選任について
	5号	定款34条第6項による 常務理事の職務代理順位の決定について	11号	行政庁に提出する平成26年度業務報告書について
	6号	常務の業務分担について	12号	理事に対する平成27営農年度組合員勘定供給 限度額及び物品取引契約の限度額について

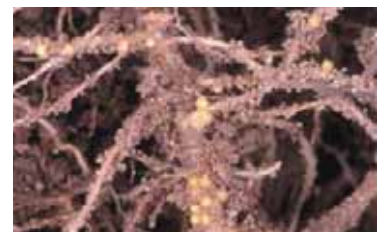
地域の皆様へお願い

ジャガイモシストセンチュウから産地を守るために

道南地区は馬鈴しょの産地です。厚沢部町と八雲町では種子馬鈴しょも全国各地に出荷しており、地域の主力農産物となっています。

●ジャガイモシストセンチュウとは、ジャガイモの根に寄生し、卵を入れた皮の袋「シスト」を形成し、袋の中で10数年も生存する厄介な害虫です。根絶のための有効な対処法がありません。

●シストセンチュウが侵入し、密度が増すと7月中旬の開花期頃から葉がしおれて黄色く変色し、やがて枯れ、ジャガイモの収穫量が激減します。種子馬鈴しょは作付自体が出来なくなるなど、ジャガイモ産地にとって最大の脅威となります。



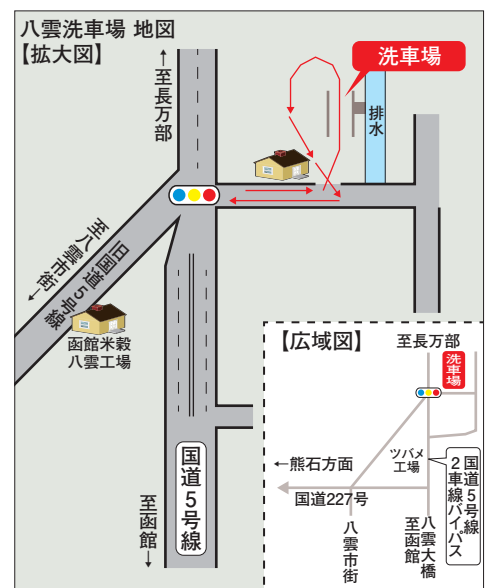
☆まん延防止対策にご協力をお願いします☆

- ①自家菜園の種子は正規の種子馬鈴薯を利用しましょう。
- ②地域の馬鈴しょ畑には無断で入らないでください。
- ③馬鈴しょの作付サイクルは4年輪作に努めましょう。
- ④発生地域からの土の侵入を防ぐため、自動車や農作業機械の洗浄を徹底しましょう。

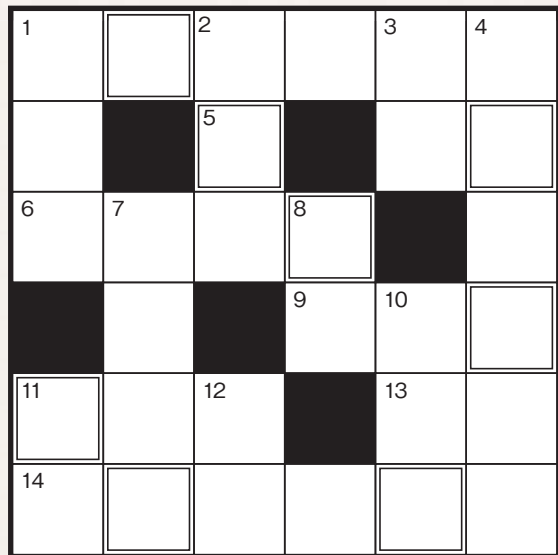
※J Aの洗車場は、広域用(八雲町花浦 87-2…右図)と厚沢部管内(松園選果場、館支店、鶉支店、江差支店)に設置されています

お問い合わせ先
本店 営農課

0138-77-5557



みんなのまるめ即応場



キーワードヒント

時には振り返ってみることも大切です。

あて先 クイズ&投稿のあて先は郵送かFAXまたはメール(ホームページのメールフォームでも送れます)でクイズの他、子供の写真やイラスト、日頃の出来事、広報誌に対するご意見・ご要望もお寄せ下さい。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号

JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566

✉E-mailアドレス shinya.toda@ja-shinhakodate.com

プレゼント クイズの正解者の中から抽選で **3** 名様に

農協ラーメン

(2食入り)

2袋をプレゼント!

どんどん投稿してね!



クロスワードクイズ

二重マスの文字を並べてできる言葉は何でしょうか?

中には今月号のえすばわーるにヒントのカギがあるかも。

タテのカギ

- 1 入鹿や馬子もいました。
- 2 労をねぎらう〇〇〇〇旅行。
- 3 田植えの前の大事な作業、〇〇かき。
- 4 「郷愁」「懐旧」を英語で言うと?
- 7 えすばわーるのキャラクターのモチーフ。
- 8 敬称のひとつ。賞状などでよく見ます。
- 10 大的中!〇〇〇〇と言い当てる。
- 11 終了から1年が過ぎた野球漫画の〇〇さん。
- 12 〇〇裂きにする。

ヨコのカギ

- 1 桜開花情報の基準となる品種です。
- 5 カリフォルニア州最大の都市を略して?
- 6 四国を代表する清流、〇〇〇〇川。
- 9 水などを通す管状の部品。
- 11 東京は上野にある商店街は〇〇〇横丁。
- 13 春風に何の感動もないという意味の、〇〇東風。
- 14 今月号の話題。若松地区で播種を行ったのは、この野菜。

4月号のこたえ キーワード

しんきいてん

4月号クイズ当選者

知内町 P.N. ハジさん

森町 P.N. ラッキーさん

厚沢部町 P.N. ソラパパさん



↓ 応募用紙はこちら (切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)

応募締め切り 5月29日(金) (当日消印有効)

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。
※コメントのないものは無効とさせていただきます。

キーワード

--	--	--	--	--	--	--	--

住所 _____

〒 _____

氏名 _____ 年齢 _____ TEL _____

ペンネーム _____ 才 _____

組合区分 _____ 正組員・准組員・その他 ※○を付けて下さい

コメント _____

読者の声



知内町 P.N. ハジさん

毎回楽しく読んでいます。今回のクロスワードも難問でした。

♣今月号のクロスワードは、個人的には過去最高の難しさです。ぜひ挑戦してみてください。



森町 P.N. ラッキーさん

いつも楽しく見ています。ラーメン食べたーい!

♣ラーメンお送りします! 4月から始まった新コーナーの感想もいただけたら嬉しいです。



厚沢部町 P.N. ソラパパさん

ラーメンおいしかったです。また応募しました。by小2年 ソラ

♣先月に続いてご応募ありがとうございます。ラーメンはぜひご家族でお召し上がりください。





★14品目★
三種の味を楽しむクリームパスタ

北海道新幹線開業を祝して

新幹線開業を祝して考えられた「三種の味を楽しむクリームパスタ」980円(税込)



パスタに使用されている道南北斗市を中心とした野菜



「自身作なのでぜひ食べにきてください」と米田店主

今回は大野地区にある「食事処 味彩」の米田廣光店主が料理を創作した「三種の味を楽しむクリームパスタ」です。北斗産のトマト、長ネギ、白菜や厚沢部産のアスパラなど、北斗市をはじめとする道南で採れた食材がメインに使われています。

オリジナルのトマトソースとホワイトソースを一皿に合わせ、紅白の見え目に仕上げています。来年開業する北海道新幹線を一足先にお祝いしたいという米田店主の気持ちでいっぱい一品となっています。

米田店主は「二つのソースをそれぞれ楽しんで後に、混ぜ合わせることで別の味へと変化し、三つ目のソースとしても味わうことができる。一皿で三回楽しめる一品を、ぜひ家族みんなで食べてほしい」と話しました。

食事処 味彩

住所：北斗市本町4丁目7-40 TEL：0138-77-1667
営業時間：11：00～20：00 月曜定休

えすばわーる新函館

第153号 平成27年5月8日発行

発行／新函館農業協同組合
住所／〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
(北斗市総合分庁舎隣)
電話／0138-77-5555 (代表)
FAX／0138-77-5566
編集／企画室
印刷／有限会社 三和印刷



JA新はこだて facebook

JA新はこだてホームページからご覧いただけます。
こちら、よろしくお願ひします。

まるめ郎 アルバム

題名：マルメロード第28章
Day: 2015. 4. 7



乙部町の鯨の岬(しびのさき)にきました。溶岩が固まってできた柱状節理という地形です。細長い岩がならぶ独特な景色はオドロキです！

◆ 今月の「えすばわーる」はいかがでしたか？ まだまだてさぐりながらの発行ですが、組合員の皆さんに「あたらしい！」と言ってもらえるようにがんばります。

先日、りんごをテーマにしたマンガ本を読んだところ、「りんごごはん」や「りんごみそ汁」なる料理が紹介されていました。りんご農家さんにはおなじみのメニューなのかもしれませんが、わたしには初耳。意外な組み合わせに驚かされました。普段は料理をしない私ですが、レシピも載っていたので作ってみようと思います。(真)

編集後記

「えすばわーる」とはフランス語で「希望」という意味。「えすばわーる新函館」が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい！という願いが込められています。